

先日「令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について」お知らせしました。

今後の学校や家庭での取組について、以下のように加えさせていただきます。

本校区の強みである温かな家庭（保護者）・地域・学校（教職員）に支えられ、子どもたちが成長している姿を確認するとともに課題も見えてきました。子どもたちの健全育成、バランスの取れた成長を支えるため、家庭（保護者）・地域・学校のトライアングルで、今後は以下の点に取り組んでいきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

学校では

- ① 全ての教科で「読む・書く」場面を多く指導に取り入れ、読解力・書く力を高めます。
- ② 子どもたちの様々な考えを引き出し、過程を重視した思考が深まる授業を展開します。
- ③ 子どもたちが自ら課題を見つけ、問題解決していく力を育成します。※主体的に学ぶ子
- ④ 各教科の中で、自分の考えをもち、図などを用いて情報を整理し、理由づけしながら分かりやすく説明したりする活動を増やしていきます。
- ⑤ 辞書引き学習など、一人ひとりの学びを大事に基礎学力の定着を図ります。
- ⑥ Chromebookの適切な活用等により、友だちとの関わり合いの中で、自己を表現できるように支援します。
- ⑦ 様々な資料を用いた授業の改善を含め、読み聞かせ、読書月間、読書貯金、速読の訓練、家読の奨励等、国語の楽しさをベースにした系統的授業づくり及び学習活動に取り組んでいきます。
- ⑧ 実際の生活場面に置き換えて考える経験的活動を重視して理解を深め、学校で学んだことが社会生活の中でも使えるようにすること、そして将来、社会に出た時も使えるような力(キャリア教育)を育むことを目指します。

家庭にお願いしたいことは

- ① 今後も、「早寝・早起き・朝ご飯」の規則正しい生活習慣の徹底にご協力ください。
- ② 「ゲーム・インターネット・スマホ」の使用時間についての約束を親子で話し合ってください。スマートフォン等の約束を「あまり守っていない・守っていない」が17.1%、「約束がない」が6.6%となっています。「1日あたりのゲームの時間は1時間未満」の割合は29%です。心も体も脳も成長の盛りの時期の子どもたち。「今」が大切です。
- ③ 学校での学習を支える大切な場として、家庭学習の手引きを参考に「休日の読書・予習や復習・自主学習等」の家庭学習の習慣化には、これからもご協力をお願いします。
- ④ 「家読(家庭での読書)・新聞・ニュース等」に接する機会をできるだけ増やしてください。
- ⑤ チャレンジすることを恐れず、小さな壁（失敗体験）に直面した時、それを乗り越えることで自信を持たせてください。

学校・家庭・地域での取組

- ① 学校教育(9ヶ年の小中一貫教育)＋家庭教育(家庭学習の手引きによる読書、新聞、実体験等の応用化)＋地域教育(水辺の楽校、放課後がむぼりタイム、地域での学習等との連携による実体験及び学力補充)による地域に開かれた学校を目指します。
- ② 今後も温かな家庭・地域を基盤とした地域ぐるみのあいさつ運動に取り組んでいきます。

